

見沼中学校区地域協議会 会議録

- 1 開催日時 令和元年7月30日（火） 午後6時30分～8時
- 2 開催場所 総合福祉会館「やすらぎの里」第3研修室
- 3 出席者 学校運営協議会・PTA・自治会 33人、一般 27人
- 4 教育委員会 鈴木教育長、江利川学校教育部長、藤井生涯学習部長
荻原学校教育部長、諸貫教育総務課長、白井主幹、須永主幹
久積、嶋田、柏瀬

5 会議内容

発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	1 開会
教育長	2 あいさつ
教育総務課長	3 見沼中学校区における学校再編成計画及び今後のスケジュールに関する説明
参加者A	<p>4 意見等</p> <p>学校再編に関する説明会に初めて参加させてもらった。以前から北河原小学校と南河原小学校との統合の問題について承知している。指導力の欠如した教育委員会の下で、北河原小と南河原小との統合が進まず、挙句の果てに頓挫し、議事録も残っていないという噂も聞いていて困ったもんだと思っていた。私の孫2人が北河原小でお世話になっている。すくすく明るく成長し、私の生きがいである。これも偏に学校の教育方針や校長先生をはじめとする教員の先生の指導力のおかげだと思っている。しかしながら、北河原小は小規模校である。学校行事や団体行動などでマイナス面もあるし、教員の教育活動において非効率的であるので、学校の再編成はやむを得ないと思っている。令和4年度に見沼中学校において新たな義務教育学校が開校する予定だということで、地域住民としては非常に関心がある。教育委員会の説明では「中1ギャップを解消する」「義務教育9年間を通したカリキュラムによる学力向上」といったメリットを全面的に出している。しかし、北河原小はずっと小規模校のスタイルでやり、問題が生じても教員や家族で克服し、立派な人間を育ててきた。要するに、システムよりも教員や家族の指導力や教育力を考えていく必要がある。義務教育学校の開校には反対ではないが、そういった面も考えていく必要があるのではないかと思う。</p> <p>① 義務教育学校のメリットは理解できたが、実際にどんな問題が起こ</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>るのか。そして、どんな対応をしていくのか。</p> <p>② 県内初の義務教育学校が、今年4月に春日部市で開校した。現在、現場の教員や生徒の中でどんな声が上がっているのか。把握しているのであれば、教えてほしい。</p> <p>① 小規模校で過ごしている児童が、多くの仲間と過ごすことによるカルチャーショックや心の不安が考えられる。そういったことを事前に想定できるのであれば、和らげていこうと考えている。そのため、現在「交流事業」を進めているところである。</p> <p>その他に、義務教育学校は1年生から9年生まで、同じ仲間と同じ学校に通うことになる。そのため、子供たちの人間関係が固定化してしまうという面がある。2クラス以上確保し、クラス替えをすることで人間関係の固定化を和らげるという方策があるが、今回提案させていただいた義務教育学校は、全ての学年が2クラス以上確保できるわけではない。よって、義務教育学校を開校しても人間関係が固定化してしまうという課題は残る可能性がある。そういった課題よりも、小学校、中学校それぞれの子供たちの個性を見て、教員が9年間を通して把握できるというメリットの方が大きいと思う。将来的に北部地域全体として適正な規模の学校の設立に向けて進めていくことが必要になる。</p> <p>さらに、保護者が心配しているのは、通学距離のことだと思う。現在は、小学生は班を編成して徒歩で通学しているが、再編成することにより、徒歩で通学できない距離になってくるので、子供たちに危険等が及ばないようにスクールバスの導入を考えている。具体的な乗車方法などは、これから皆さんと一緒に考えていく。さまざまなデメリットが考えられるが、それを事前に少しでも消していけるようにしたい。</p> <p>② 昨年度、春日部市の義務教育学校が開校する前に、開校に向けてどのように準備を進めていったかを把握するため、視察した。そして、今年の9月に開校後における子供たちや教員の現場の声を聞きに行く予定である。視察を経て、具体的な問題点や事例など、結果について皆様にお知らせをしていく。</p>
<p>参加者A</p>	<p>③ 自分自身が中高一貫校に勤務していた経験があるが、在籍する生徒の年齢差が大きくなり精神的にも成熟していることから、生徒同士で良い面や悪い面を区別しながら学校生活を送り、相乗効果が出ているという印象を受けた。一方で義務教育学校では、幼稚園を卒園</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>したばかりの小学1年生から大人に近い考えを持つようになる中学3年生までと一緒に学校生活を送ることで、「小学1年生が萎縮しないか」「中学生の問題行動に小学生が影響を受けないか」といった心配がある。その点について、しっかりと対応をしてほしい。</p> <p>また、通常の小学校では卒業式がある。これにより、6年生は小学校6年間の教育課程を修了したことで、達成感があるのではないかとと思う。しかしながら、義務教育学校で小学校6年が修了する時点で卒業式がないことから達成感が損なわれたり、小学校5・6年生で培われるリーダーシップを育成することができなかつたりするのではないかと心配している。その点についても、義務教育学校でしっかりと指導していただきたい。</p> <p>③ 義務教育学校では小1から中3までが一緒にいるが、これまで通り小学校5・6年生がリーダーシップを発揮できる場面は必要になってくると思う。全ての行事において、全学年が一緒に行うのではなく、小学生だけで行う行事も必要だと思う。その点について、カリキュラム編成や学校の事業を計画する段階で、細かく考えていく必要がある。小学校の卒業式はなくなるが、小学校の課程を修了したという区切りをつけるという方策も必要だと思う。</p>
<p>参加者B</p>	<p>8月に開校準備委員会を設置し、義務教育学校の開校に向けて具体的な事柄を検討していきたいということだが、今そういう段階になっているのか疑問がある。つまり、3月頃に学校再編成計画(案)が示されて、パブリックコメントを募集し、回答は開校ありきのものだった。その後、5月に各中学校区で計画についての説明会があったわけである。</p> <p>この計画が策定される前に、北河原小は南河原小との統合に伴い、閉校準備委員会を作った。この組織を立ち上げる前に10年間10回に渡って地域住民や保護者と話し合い、北河原小を閉校することを決めた。長い時間をかけて「閉校することはやむを得ない」ということを決めていった。そういった経験がない荒木や須加は、全体的に「義務教育学校を開校していこう」という気持ちになっているのだろうか。そのことを教育委員会が確認していないと、開校準備委員会で他の地域の方とズレが生じたときに話がまとまっていけない。「計画についての説明をPTAや地域住民に行うとともに十分に理解を得て、その後、開校準備委員会を設置することについて承認を得た後に、計画を進めていく」という気持ちが教育委員会にはあるのか。新校設置に向けての説明が極めて不十分だと思う。</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>北河原地区の方が、学校の再編成に向けて長い間協議を進めてきたことは把握している。北河原小と須加小では、複式学級が編制されているが、それが全て悪いということではない。しかし、子供たちがある程度の規模の中で勉強し、さまざまな活動を行っていくために、早い段階でこの計画を進めていきたいという気持ちがある。細かい点は、開校準備委員会や専門部会で話し合っていくが、適正規模の学校を編成するとともに小中一貫のカリキュラムを導入する義務教育学校を令和4年度に設置することについて、皆様の了承をいただきたいと思っている。そして、了承が得られれば、開校に向けての具体的な検討に入っていこうと考えている。確かに、説明が十分であるとは思っていないが、本日は、子供たちの教育環境を整えていくための大枠について提案をさせていただいている。</p>
<p>参加者B</p>	<p>私は、計画について「賛成」「反対」と言っているのではない。過去にも北河原小と南河原小との統合について、反対はしていなかった。計画を進める過程が大事である。例えば、小学校に説明したのか。5月に行った説明会でも、学校の先生が質問をしていた。教職員がこの計画に対する意識を一致させているのか疑問に思った。計画の周知について、地域や教職員に対して積極的に行ってもらわないと駄目だと思う。早く計画を進めていきたい気持ちは分かる。そのために必要なことをやっていないと思う。そういったことをやらないと、この計画はつぶれると思う。北河原小と南河原小が統合できなかったように、同じことを再び繰り返すと思う。学校に行ってPTAに説明するなどをしなければ駄目だ。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>それぞれの地域に説明していくことは必要であると認識している。3年後に学校を再編成していくのは、見沼中学校区だけでなく中央小と星宮小も対象となっている。現在、保護者への説明について実施する時期を検討している。こういった場に足を運んでくれる方には説明することができるが、説明会に来ることができない方には、広報紙などを通じてお知らせしている。しかし、実際に皆さんがどのように思っているかを聞けていないのが正直なところだ。</p>
<p>参加者C</p>	<p>幼稚園を出たばかりの小学1年生と大人に近づいている中学3年生が共に学校生活を送ることについて、本当に大丈夫か不安だ。「本当は、もっと大きな規模の学校を設置したい」と言っていたが、今回の規模で義務教育学校を設置した後に、数年後に新たな学校を設置していくことは費用が無駄になるだけだと思う。私は、小学校だけを再編して荒木小の</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>校舎を活用すれば費用は掛からないと思う。2年半後に義務教育学校を設置するということが、内容が詰まってないのではないかと。もう少し大きな規模で再編成できるという段階になってから、義務教育学校を設置した方がいいのではないかと。小学校だけの再編については賛成で、デメリットの部分を考えていただきたい。</p> <p>それぞれの学年ごとに精神面、体力面の成長が違う子供たちが一緒に学校生活を送れるように、活動上における危険を排除することが必要である。義務教育学校を設置したことによる効果を見ると、中学生が日常的に小学生と生活することで、卒業する頃には人間的にかなり成長しているという事例も報告されている。</p> <p>また、学力の面において、現在のシステムだと「児童が中学校でどのような授業を受けるのか」「生徒が小学校でどんな授業を受けてきたのか」を全ての小中学校の先生が理解している訳ではない。小中一貫教育では、先生方の指導方法を変えていくことにより、指導力を上げていくということも目的である。学習面での課題や中1ギャップなどを解決する方策として、小中一貫教育が主流になってくる。行田市も、全体的に小中一貫教育を取り入れていくという方針である。見沼中学校区において、再編成の最初の段階で義務教育学校として小中一貫教育を導入していきたいと考えている。</p> <p>初めに小学校だけを再編するという意見も理解できるが、見沼中学校区には義務教育学校を設置できる体制が取れるという利点がある。小学校と中学校の分離型の小中一貫校を設置することもできるが、分離型ゆえの苦勞が多いのも事実である。小学5・6年生になると授業の内容が難しくなる。小学校の先生は全ての教科を担当しなければならないが、専門的な教科を教える先生が小学校5・6年生で担当すれば中学校3年間の学習において非常に効果があるといわれている。</p> <p>計画の達成に向けての内容が成熟していないことは認めるが、複式学級を解消し、多くの仲間と共に学校生活を送れる環境を整えていきたいという思いがあることから、今回の提案をさせてもらった。</p>
<p>参加者C</p>	<p>複式学級の解消と小中一貫教育の導入を一気にやりたいという気持ちは理解できる。複式学級の子供たちのために、複式学級の解消は早々に行ってほしいと考えているので、企画倒れになってしまうのは悲しい。第1弾として、複式学級にならないように小学校のみの再編成を提案させてもらった。そういう思いがあることを理解してほしい。</p>

教育総務課長	<p>皆様からそういった意見が多いのであれば、小学校のみの再編成を考えていかなければいけないと思う。小中一貫教育を進める上で、施設が一体であることがかなりの利点であるので、教育委員会としては、小学校を再編成し、同時に義務教育学校を設置したいという気持ちがある。良い取り組みであると考えているので、機会を逃さずに今回の再編成のタイミングで実施していきたい。説明が不足して、皆様に理解していただけでないことは認識している。これからも保護者や学校に関わる方に説明していく必要がある。</p>
参加者D	<p>この計画について賛成である。再編成計画を知らない方もいるので、この計画に対して「賛成」または「反対」を伺うアンケートを実施するのか。また、令和4年度の義務教育学校の設置に向けて、教育委員会は強い気持ちで計画を進めてほしい。</p>
教育総務課長	<p>この計画は、学校の再編成と義務教育学校の設置について取り組んでいくものなので、単純にアンケートを実施することは難しい。よって、本日参加できなかった学校の関係者にも具体的に説明していく必要がある。子供たちのことを考えて、大人が責任を持って教育環境を整えていく必要がある。本日は、学校の再編成と義務教育学校の設置についての大枠について、承認をいただけるか伺いたいと思っている。</p>
参加者A	<p>確認だが、義務教育学校の開校は決定なのか。それとも、アンケートを取って、多くの反対が出た場合は違う方向に進むということはあるのか。</p>
教育総務課長	<p>皆様が義務教育学校について、まだ分からない点があると思う。今後、小中一貫教育は全国的に取り入れられていくだろう。それが、再編成と同時なのか、それとも現在の形態の中で進められていくのか2つ可能性がある。いずれにしても、学校の再編成と小中一貫教育は避けては通れないものである。行田市として義務教育学校の設置について決定していることではない。</p>
参加者A	<p>このようなプロジェクトは、どの時点でGOサインが出されるのか。通常の法案などは、市議会等での承認を得て執行されるが、学校の再編成について、どういった判断でGOサインが出たものとみなすのか。</p>
教育総務課長	<p>学校再編は、法案のようなものではない。市民も構成員とした「公立</p>

	<p>学校通学区域等審議会」の答申を受けて、今回の計画を作成した。そして、教育委員が出席する会議にかけて、「この方向で進めていこう」ということになった。ただ、保護者や地域の方に理解をいただいた上で計画を進めていこうと考えている。「市の方で決定したので、従ってください」というやり方はしたくない。そのために、このような地域協議会を開催している。足りないようであれば、説明を重ね、意見を伺いながら理解を図っていく。</p>
参加者 A	<p>地域住民の意見をしっかり吸い上げ、新しい魅力的な義務教育学校を作っていただきたい。</p>
参加者 F	<p>適正規模の学校は結構なことだと思う。義務教育学校の設置は、文部科学省で推し進めているが、弊害もあると思う。適正規模の学校を作っていくためには、学校を統合しなければいけない。今までの小学校は各地域のコミュニティづくりの拠点だった。そして、その地域において教育力が違っている。必ずしも大きな学校が、成績が優秀であるとは限らない。東北地方の小さな学校が、成績が優秀であるというデータもある。統合が全てではない。そして、学校の跡地利用について、それに伴う地域のコミュニティ活動について忘れてほしくない。これは、大きな問題である。開校準備委員会とあるが、閉校のための準備委員会を同時に作る必要がある。そうしないと、地域のコミュニティが崩れていく。</p> <p>北河原小では、放課後子ども教室を実施している。対象は小学1年生から6年生までである。昨年度5年生だった子どもが今年度6年生になった。5年生だった子どもは、低学年と一緒に活動の輪を乱すこともあった。ところが、6年生になると最高学年になり、雰囲気が変わった。これは、教員の指導によるものでなく、子どもの意識の変化によるものだ。「自分たちは児童らのリーダーなんだ」という意識は、義務教育学校で9年制になるとなくなってしまうだろう。そういった小学6年生のリーダーシップの育成について、どのようにカバーしていくか検討していく必要がある。</p> <p>統合した学校を大学教授が調査した。その結果、子ども同士の対立が発生したとのことだ。例えば「君たちはバスが使えていいな。私たちは徒歩で帰るんだ」と口論があったとのことだ。また、昔の子供たちは体力があったが、スクールバスを利用すると体力は落ちてしまう。そういったリスクをどのようにカバーするか忘れないでほしい。</p>
教育総務課長	<p>学校の跡地利用について、まだ組織化していないが、この開校準備委</p>

<p>司会</p>	<p>員会と同じ形で市長部局の方で取りまとめていくことになる。もちろん、教育委員会も関与していく。内容がはっきりしたら、皆様にお知らせする。</p> <p>子供たちのリーダーシップに関することやスクールバスの利用についての意見は、子供たちの立場に立ったものだと思う。開校に向けてさまざまなことを検討していく中で、さまざまなリスクが上げられていくだろう。それを最小限にしていくための協議が必要である。春日部市で開校した義務教育学校は小規模であり、スクールバスも走り、私たちが目指す義務教育学校と似ている部分が多い。リスクを潰していけるように視察を行い、その情報を皆様に伝えて一緒に考えていきたい。</p> <p>現時点で見沼中学校区4校での再編成計画について、改めて伺う。荒木小学校、須加小学校、北河原小学校、見沼中学校での再編成について了承をいただければ、拍手をお願いする。</p> <p>(拍手多数)</p> <p>教育委員会として、見沼中学校区4校での再編成について真摯に取り組んでいく。</p>
<p>参加者B</p>	<p>今の拍手で開校準備委員会を開設することを決定したということなのか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>引き続き、保護者や地域の方に説明していく必要があると思うが、見沼中学校区4校で義務教育学校を設置していくという説明をさせていただきたい。令和4年度の開校に向けて、かなり忙しいスケジュールであるが、8月中に開校準備委員会を設置することについて、皆様の意見を聞くと難しい印象を受けた。ただ、見沼中学校区4校で義務教育学校を設置していくこととして、引き続き説明をしていってよいかを本日伺ったのである。</p>
<p>参加者B</p>	<p>決めたとなると困る。それぞれの学校でPTAや地域の方に説明をし、了承を得ているのであればよいと思う。一斉に対象地区の方を呼んで、来たい方が来て、了承を得て、計画を進めるというのは違うと思う。順番が違うと思う。それぞれの学校に行って、PTAや地域に説明してからではないのか。私個人としては反対していないが、PTAや地域に個別に説明をしていないのに、「決まったことだ」と言われてはたまっ</p>

教育総務課長	<p>たものじゃない。</p> <p>全ての方の賛成を得ることは難しい。現在、小学校に子どもを預けている保護者やこれから小学校に上がる子どもを持つ保護者は、もちろんこの計画に関係してくる。そういった方と意見交換ができる場を設けていきたいと思う。</p> <p>5 閉会</p>
--------	--